

**【次世代のために】施策の柱 35**

①予算事業名	学校給食センター管理運営事業	予算科目	10-6-2-3	基本構想上の位置づけ 上段：「島づくり目標」 下段：「施策の柱」	次世代のための島づくり
②担当部課名	学校給食センター	事業実施(予定)年度	H30~H32		基本計画の該当箇所

③事業内容  
学校給食食材における地場産物の活用の促進を図る。

④実施方法  
 直接実施     委託     補助     負担     その他 ( )

		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
⑤事業費 【単位:円】	財源内訳	(a) 国庫					
		(b) 県費					
		(c) 地方債等			37,495,000		
		(d) 一般財源	77,648,467	78,560,457	37,957,000	111,000,000	76,000,000
		計(a~d)	77,648,467	78,560,457	75,452,000	111,000,000	76,000,000
特定財源名		(a) または (b) の名称		(c) の名称			

年度	実施する具体的な事業の内容
平成30年度	①食材を検討し、学校給食での地産物活用に取り組む。(モズク、アーサ、みそ、紅イモ、そば、もやし、海洋深層水栽培野菜等の活用) ②地元産デザート(紅イモシュークリーム他) ③新メニューの検討
平成31年度	①食材を検討し、学校給食での地産物活用に取り組む。(モズク、アーサ、みそ、紅イモ、そば、もやし、海洋深層水栽培野菜等の活用) ②地元産デザート(紅イモシュークリーム他) ③新メニューの検討
平成32年度	①食材を検討し、学校給食での地産物活用に取り組む。(モズク、アーサ、みそ、紅イモ、そば、もやし、海洋深層水栽培野菜等の活用) ②地元産デザート(紅イモシュークリーム他) ③新メニューの検討

成果目標(指標)		基準値 (29年度)	30年度	31年度	32年度	目標値 (37年度)
食材を検討し、学校給食での地産物活用に取り組む(食賄材料費における地元産物の割合の向上)	目標	( 25% )	( 30% )	( 30% )	( 35% )	( 35% )
	実績	23%				
⑦成果目標(指標)及び進捗状況	目標	/	( )	( )	( )	( )
	実績					

果・事業等・成果  
 学校給食食材に地場産物を活用することにより、島内の消費の拡大や生産者の意欲向上や自給率アップが図られる。

